

対象校No. 350

注4

学校コード F11310102192

注3

設置年度

令和

3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

東都大学

幕張ヒューマンケア学部

臨床工学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人青淵学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名

ジムチョウ ヤマシタ ヤスヒロ
事務長 山下 泰大

電話番号

048-574-2500

(夜間)

e-mail

soumu@tohto.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

幕張ヒューマンケア学部

＜臨床工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	21
4. 既設大学等の状況	22
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人青淵学園

(2) 大 学 名

東都大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒261-0021

千葉県千葉市美浜区ひび野1-1

(〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西4-2-11)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	オオツボ オサム 大坪 修 (平成20年11月)		
学 長	ナカジョウ トシオ 中條 俊夫 (平成25年9月)	ヨシオカ トシマサ 吉岡 俊正 (令和3年4月)	辞任による変更 (令和3年4月1日) (5)
学 部 長	カツベ ケンイチ 勝部 憲一 (令和2年4月)	ネモト セイジ 根本 清次 (令和4年4月)	任期満了に伴う変更。 (令和4年4月1日) (5)
学科長等	ホリウチ タカシ 堀内 孝 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
幕張ヒューマン7学部 臨床工学 学士(臨床工学)	保健衛生学関係 (看護学関係及 びリハビリテー	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	40人 (40) [—]	—人 (—) [—]	40人 (40) [—]	—人 (—) [—]	40人 (40) [—]	—人 (—) [—]	40人 (40) [—]	—人 (—) [—]	—	0.40倍	—	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	24 (—) [—]	— (—) [—]	51 (—) [—]	— (—) [—]	41 (—) [—]	— (—) [—]	26 (—) [—]	— (—) [—]	—	0.40倍	—	
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	21 (—) [—]	— (—) [—]	44 (—) [—]	— (—) [—]	38 (—) [—]	— (—) [—]	26 (—) [—]	— (—) [—]	—	0.40倍	—	
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	21 (—) [—]	— (—) [—]	42 (—) [—]	— (—) [—]	38 (—) [—]	— (—) [—]	26 (—) [—]	— (—) [—]	—	0.40倍	—	
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	8 (—) [—]	— (—) [—]	25 (—) [—]	— (—) [—]	19 (—) [—]	— (—) [—]	14 (—) [—]	— (—) [—]	—	0.40倍	—	
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	0.20	—	0.62	—	0.47	—	0.35	—	—	0.40倍	—	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)	25 [—] (—)	— [—] (—)	19 [—] (—)	— [—] (—)	14 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)	25 [—] (—)	— [—] (—)	18 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)	25 [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	7 [—] (—)	— [—] (—)	32 [—] (—)	— [—] (—)	51 [—] (—)	— [—] (—)	64 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	8 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	- 人	他の教育機関への転学(1名)
令和4年度	32 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	51 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	64 人	1 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	1 人	- 人	他の教育機関への転学(1名)
			令和6年度	- 人	- 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。))

- ・各対象年度に在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学生数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数は編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{51} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{64} = \boxed{1.56} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2
	ヒューマンケア概論	1前	1								1
	心理学	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方	1前		2							1
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0	10
	数学Ⅰ	1前	2				1				
	数学Ⅱ	1後		2			1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	0	3
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	科学英語	2後			1	1					
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	5	0	13
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2								1
	解剖生理学Ⅱ	2前	2								1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1	2
	小計(5科目)	-	9	0	0	2	0	0	0	1	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前		2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							1
	臨床検査学概論	2後		1							1
	小計(6科目)	-	6	5	0	2	0	0	0	0	5

【令和6年度】(新カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2
	ヒューマンケア概論	1前	1			2					4
	心理学	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方	1前		2		1	1		1		2
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0	13
	数学	1前	2				1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	小計(7科目)	-	8	6	0	2	1	0	0	0	1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ(未開講)	2前		1							1
	科学英語	2後		1		1					
	小計(4科目)	-	1	3	0	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	25	0	5	2	1	5	0	15
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2			1					1
	解剖生理学Ⅱ	2前	2			1					1
	生化学Ⅰ	2前	1			1					
	基礎医学実習	1後	1			2					1
	小計(4科目)	-	6	0	0	3	0	0	0	0	2
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	病理学	1後	2								1
	生化学Ⅱ	2前	1			1					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論(ゲーム医療概論)	2前		2		1					1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							4
	臨床検査学概論	2後		1							1
	小計(8科目)	-	9	5	0	3	0	0	0	0	9

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2		
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1		
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3		
	電気工学Ⅱ	2前		2					1		
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3		
	電子工学Ⅰ	2前	2				1				
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2		
	電子工学Ⅱ	2後		2			1				
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2		
	計測工学	2後	2				1				
	機械工学	2後	2			1					
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1	
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1	
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1	
小計(14科目)	-	13	4	4	4	2	0	3	1	-	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	情報科学概論	1前	2			1			1		
	情報リテラシー	1前	1						2		
	システム工学基礎	1後	2			1					
	情報処理技術基礎	1後	2			1					
	パソコン基礎演習	1通			2				2	1	
小計(5科目)	-	7	0	2	1	0	0	3	1	-	
小計(30科目)	-	35	9	6	4	2	0	3	1	9	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1					1
	医用機械工学	3後	2			1					
	生体計測装置学	3後	2			2					
	医用機器学	3前	2			1		1	1		
	医用機器学実習	3後	1			1		1	1	1	
	医用画像診断装置学	3前		2							1
	医用材料工学	3後	2			1					
	医用ロボティクス	3後		2							1
	人工臓器概論	3後		2		1					
	小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	1	2

【令和6年度】(新カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
医療テクノロジーに 必要な基礎科目群	応用数学	1後		2			1				
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1		
	電気工学演習Ⅰ	1後		1						3	
	電気工学Ⅱ	2前		2					1		
	電気工学演習Ⅱ	2前		1						3	
	電子工学Ⅰ	2前	2				1				
	電子工学演習Ⅰ	2前		1			1			2	
	電子工学Ⅱ	2後		2			1				
	電子工学演習Ⅱ	2後		1			1			2	
	確率統計学入門	2前		2							1
	計測工学	2後	2				1				
	機械工学	2後	2			1					
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1							3	1
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1							3	1
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1			2	1
	小計(15科目)	-	12	12	0	1	2	0	3	1	1
	情報科学概論	1前	2			1				2	
	情報リテラシー	1前	1							1	
	システム工学基礎	1後	2			1					
	情報処理技術基礎	1後	2			1					
パソコン基礎演習	1通		2						3		
医療情報処理技術	2前	2			1						
医療情報処理技術演習	2前		1		1				1		
医療情報システム	2前	2			1						
医療情報システム演習	2前		1		1				1		
情報通信ネットワーク	2後	2			2						
医療用IoT概論	3前	2			1				1	2	
医用画像情報処理技術	3後		2						2		
人工知能(AI)	3後		2							1	
小計(13科目)	-	15	8	0	1	0	0	3	1	-	
小計(40科目)	-	42	25	0	4	2	0	3	1	12	
医療テクノロジーに 必要な専門科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2		
	生体物性工学	3前	2			1					1
	医用材料工学	3後	2			1					
	医用機械工学	3後	2			1					
	小計(4科目)	-	7	0	0	1	0	0	3	1	-
	医用機器学Ⅰ	3前	1			1		1			
	医用機器学実習	3後	1			1		1			
	生体計測装置学Ⅰ	3後	1			2					
	医用画像診断装置学	3前		2							1
	医用ロボティクス	3後		2							1
人工臓器概論	3後		2		1						
臨床支援技術学	4前	2									
小計(7科目)	-	5	6	0	3	1	1	0	0	2	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	体外循環療法学	3前	2			1					
	体外循環療法装置学	3前	2			1					
	体外循環療法装置学実習	3後	1			1				1	
	血液浄化療法学	3前	2			1					
	血液浄化療法装置学	3前	2			1					
	血液浄化療法装置学実習	3後	1			1			1		
	呼吸療法学	3前	2			1			1		
	呼吸療法装置学	3前	2			1			1		
	呼吸療法装置学実習	3後	1				1	1			
	小計(9科目)	－	6	9	0	2	1	1	2	1	－
	医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1		
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1			
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1	
	小計(3科目)	－	5	0	0	0	1	1	1	1	－
	医療情報処理技術	2前	2			1					
	医療情報処理技術演習	2前		1	1				1		
	医療情報システム	2前	2			1					1
	医療情報システム演習	2前		1	1						
	情報通信ネットワーク	2後	2			1			1		
	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1		
	医用画像情報処理技術	3後		2					2		
	人工知能(AI)	3後		2							1
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	4	0	4
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2								2
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					2
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1							1
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	5
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4
	小計(3科目)	－	0	3	0	1	1	0	0	0	12
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1	
	小計(1科目)	－	4	0	0	3	1	1	2	1	
	卒業研究	4通	4			5	2	1	5		
	小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	5	0	
	小計39科目	－	46	23	2	5	2	1	5	1	21
	合計93科目	－	92	60	9	5	2	1	5	1	38
卒業要件及び履修方法											
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。											

【令和6年度】(新カリキュラム)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
医療 テ ク ノ ロ ジ ー に 必 要 な 専 門 科 目 群	体外循環療法学	3前		2			1					
	体外循環療法装置学	3前	2				1					
	体外循環療法装置学実習	3後		1			1					
	血液浄化療法学	3前		2		1						
	血液浄化療法装置学	3前	2				1					
	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1			
	呼吸療法学	3前		2			1			1		
	呼吸療法装置学	3前	2				1			1		
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1		1		
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1						4
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1			4
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1								4
	小計(12科目)	－	6	12	0	3	5	1	4	0	12	
	医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1			
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1				
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1			
	医用機器学Ⅱ	3前	1			1		1				
	生体計測装置学Ⅱ	3後	1			2						
	医療用IoTセキュリティ(医療設備を含む)	3後	2			1			1			
	小計(6科目)	－	9	0	0	2	1	2	2	0	－	
	小計(0科目)											
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2				1					2
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2			1						1
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1						1
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1		1						1
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	2	
	小計(0科目)											
	臨床実習	4通	7				3	1	1	1	1	1
	小計(1科目)	－	7				3	1	1	1	1	1
	卒業研究	4通	4				5	2	1	4		1
小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	4	0	1		
小計35科目	－	44	19	0	5	2	1	5	1	23		
合計97科目	－	97	69	0	5	2	1	5	1	44		
卒業要件及び履修方法												
97単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2
	ヒューマンケア概論	1前	1			1					1
	心理学（未開講）	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方（未開講）	1前		2							1
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	－	2	16	0	5	2	1	5	0	10
	数学Ⅰ	1前	2				1				
	数学Ⅱ	1後		2			1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	－	8	10	0	2	1	0	0	0	3
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後		1							1
英語Ⅲ	2前		1							1	
科学英語	2後			1	1						
小計(4科目)	－	1	2	1	1	0	0	0	0	1	
小計(24科目)	－	11	28	1	5	2	1	5	0	13	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2								1
	解剖生理学Ⅱ	2前	2								1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1	2
	小計(5科目)	－	9	0	0	2	0	0	0	1	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前		2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							1
臨床検査学概論	2後		1							1	
小計(6科目)	－	6	5	0	2	0	0	0	0	5	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修数	選択数	自由数	教授数	准教授数	講師数	助教数	助手数	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	4		2
	ヒューマンケア概論	1前	1								2
	心理学	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方(未開講)	1前		2							2
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	－	2	16	0	5	2	1	4	0	12
	数学Ⅰ	1前	2				1				
	数学Ⅱ	1後		2			1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	－	8	10	0	2	1	0	0	0	3
英語Ⅰ	1前	1								1	
英語Ⅱ	1後		1							1	
英語Ⅲ(未開講)	2前		1							1	
科学英語	2後			1	1						
小計(4科目)	－	1	2	1	1	0	0	0	0	1	
小計(24科目)	－	11	28	1	5	2	1	4	0	14	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2								2
	解剖生理学Ⅱ	2前	2								1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1	2
	小計(5科目)	－	9	0	0	2	0	0	0	1	5
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前		2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							3
	臨床検査学概論	2後		1							1
小計(6科目)	－	6	5	0	2	0	0	0	0	5	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修数	選択数	自由数	教員数	准教員数	講師数	助教数	助手数	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2		
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1		
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3		
	電気工学Ⅱ	2前		2					1		
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3		
	電子工学Ⅰ	2前	2				1				
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2		
	電子工学Ⅱ	2後		2			1				
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2		
	計測工学	2後	2				1				
	機械工学	2後	2			1					
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1	
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1	
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1	
	小計(14科目)	－	13	4	4	4	2	0	3	1	－
	医療テクノロジーに必要な専門科目群	情報科学概論	1前	2			1			1	
情報リテラシー		1前	1						2		
システム工学基礎		1後	2			1					
情報処理技術基礎		1後	2			1					
パソコン基礎演習		1通			2				2	1	
小計(5科目)		－	7	0	2	1	0	0	3	1	－
小計(30科目)		－	35	9	6	4	2	0	3	1	9
生体物性工学		3前	2			1					1
医用機械工学		3後	2			1					
生体計測装置学		3後	2			2					
医用機器学	3前	2			1		1	1			
医用機器学実習	3後	1			1		1	1	1		
医用画像診断装置学	3前		2							1	
医用材料工学	3後	2			1						
医用ロボティクス	3後		2							1	
人工臓器概論	3後		2		1						
小計(9科目)	－	11	6	0	3	1	1	1	1	2	
体外循環療法学	3前		2			1					
体外循環療法装置学	3前	2				1					
体外循環療法装置学実習	3後		1			1			1		
血液浄化療法学	3前		2		1						
血液浄化療法装置学	3前	2			1						
血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1			
呼吸療法学	3前		2			1		1			
呼吸療法装置学	3前	2				1		1			
呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1			
小計(9科目)	－	6	9	0	2	1	1	2	1	－	
医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1			
医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1				
医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1		
小計(3科目)	－	5	0	0	0	1	1	1	1	－	
医療情報処理技術	2前	2			1						
医療情報処理技術演習	2前			1	1			1			
医療情報システム	2前	2			1						
医療情報システム演習	2前			1	1					1	
情報通信ネットワーク	2後	2			1			1			

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		1		1	
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1			
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3			
	電気工学Ⅱ	2前		2					1			
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3			
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2			
	電子工学Ⅱ	2後		2			1					
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2			
	計測工学	2後	2				1					
	機械工学	2後	2			1						
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1		
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1		
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1		
	小計(14科目)	－	13	4	4	4	2	0	3	1	1	
	情報科学概論	1前	2			1			1			
	情報リテラシー	1前	1						2			
	システム工学基礎	1後	2			1						
	情報処理技術基礎	1後	2			1						
パソコン基礎演習	1通			2				2	1			
小計(5科目)	－	7	0	2	1	0	0	3	1	－		
小計(30科目)	－	35	9	6	4	2	0	3	1	10		
医療テクノロジーに必要な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1					1	
	医用機械工学	3後	2			1						
	生体計測装置学	3後	2			2						
	医用機器学	3前	2			1		1			1	
	医用機器学実習	3後	1			1		1		1	1	
	医用画像診断装置学	3前		2							1	
	医用材料工学	3後	2			1						
	医用ロボティクス	3後		2							1	
	人工臓器概論	3後		2		1						
	小計(9科目)	－	11	6	0	3	1	1	1	1	3	
	体外循環療法学	3前		2			1					
	体外循環療法装置学	3前	2				1					
	体外循環療法装置学実習	3後		1			1			1		
	血液浄化療法学	3前		2		1						
	血液浄化療法装置学	3前	2			1						
	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1			
	呼吸療法学	3前		2			1				1	
	呼吸療法装置学	3前	2				1				1	
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1			1	
	小計(9科目)	－	6	9	0	2	1	1	1	1	1	
医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1				
医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1					
医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1			
小計(3科目)	－	5	0	0	0	1	1	1	1	－		
医療情報処理技術	2前	2			1							
医療情報処理技術演習	2前			1	1			1				
医療情報システム	2前	2			1							
医療情報システム演習	2前			1	1					1		
情報通信ネットワーク	2後	2			1			1				

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
医療テクノロジー に必要な専門科目群	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2	
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1			
	医用画像情報処理技術	3後		2					2			
	人工知能(AI)	3後		2							1	
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	4	0	4	
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2								2	
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1							1	
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	5	
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
	小計(3科目)	－	0	3	0	1	1	0	0	0	12	
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1		
	小計(1科目)	－	4	0	0	3	1	1	2	1		
卒業研究	4通	4			5	2	1	5				
小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	5	0			
小計39科目	－	46	23	2	5	2	1	5	1	21		
合計93科目		－	92	60	9	5	2	1	5	1	38	
卒業要件及び履修方法												
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2	
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1			
	医用画像情報処理技術	3後		2					2			
	人工知能(AI)	3後		2							1	
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	4	0	5	
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2								2	
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1							1	
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	5	
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
	小計(3科目)	－	0	3	0	1	1	0	0	0	12	
	臨床実習	4通	4			3	1	1	1	1	1	
	小計(1科目)	－	4	0	0	3	1	1	2	1		
	卒業研究	4通	4			5	2	1	4		1	
	小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	4	0		
	小計39科目	－	46	23	2	5	2	1	4	1	24	
合計93科目	－	92	60	9	5	2	1	4	1	42		
卒業要件及び履修方法												
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

【令和5年度】（旧カリキュラム）

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 義	助 教	助 手		
ヒュー マン ケア の 基 礎 科 目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2	
	ヒューマンケア概論	1前	1			2					4	
	心理学	1前		2							1	
	コミュニケーション論	1前		2							1	
	人間の生き方	1前		2		1	1		1		2	
	倫理と医療	1後		2							1	
	法律と医療	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	カウンセリング論	1後		2							1	
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1	
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1	
	小計(11科目)	－	2	16	0	5	2	1	5	0	13	
	数学Ⅰ	1前	2				1					
	数学Ⅱ	1後		2			1					
	物理Ⅰ	1前	2			1						
	物理Ⅱ	1後		2		1						
	化学Ⅰ	1前	2			1						
	化学Ⅱ	1後		2		1						
	生物Ⅰ	1前	2								1	
	生物Ⅱ	1後		2							1	
	確率統計学入門	2前		2							1	
	小計(9科目)	－	8	10	0	2	1	0	0	0	2	
	英語Ⅰ	1前	1								1	
	英語Ⅱ	1後		1							1	
英語Ⅲ	2前		1							1		
科学英語	2後			1	1							
小計(4科目)	－	1	2	1	1	0	0	0	0	1		
小計(24科目)	－	11	28	1	5	2	1	5	0	15		
医療 テ ク ノ ロ ジ ー に 必 要 な 基 礎 科 目 群	解剖生理学Ⅰ	1後	2			1						
	解剖生理学Ⅱ	2前	2			1					1	
	病理学	1後	2								1	
	生化学	2前	2			1						
	基礎医学実習	1後	1			2					1	
	小計(5科目)	－	9	0	0	2	0	0	0	0	3	
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2						
	公衆衛生学	2前	2								1	
	看護学概論	2前		2							1	
	感染と免疫	2後	2								1	
	薬理学	2後		2							3	
	臨床検査学概論	2後		1							1	
小計(6科目)	－	6	5	0	2	0	0	0	0	7		

【令和5年度】（新カリキュラム）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2	
	ヒューマンケア概論	1前	1			2					4	
	心理学	1前		2							1	
	コミュニケーション論	1前		2							1	
	人間の生き方	1前		2		1	1		1		2	
	倫理と医療	1後		2							1	
	法律と医療	1後		2							1	
	社会福祉論	1後		2							1	
	カウンセリング論	1後		2							1	
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1	
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1	
	小計(11科目)	－	2	16	0	5	2	1	5	0	13	
	数学	1前	2				1					
	物理Ⅰ	1前	2			1						
	物理Ⅱ	1後		2		1						
	化学Ⅰ	1前	2			1						
	化学Ⅱ	1後		2		1						
	生物Ⅰ	1前	2								1	
	生物Ⅱ	1後		2							1	
	小計(7科目)	－	8	6	0	2	1	0	0	0	1	
	英語Ⅰ	1前	1								1	
	英語Ⅱ	1後		1							1	
	英語Ⅲ	2前		1							1	
	科学英語	2後		1		1						
	小計(4科目)	－	1	3	0	1	0	0	0	0	1	
	小計(24科目)	－	11	25	0	5	2	1	5	0	15	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2			1					0	
	解剖生理学Ⅱ	2前	2			1					1	
	生化学Ⅰ	2前	1			1						
	基礎医学実習	1後	1			2					1	
	小計(4科目)	－	6	0	0	3	0	0	0	0	1	
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2						
	病理学	1後	2								1	
	生化学Ⅱ	2前	1			1						
	公衆衛生学	2前	2								1	
	看護学概論(チーム医療概論)	2前		2		1					1	
	感染と免疫	2後	2								1	
	薬理学	2後		2							3	
	臨床検査学概論	2後		1							1	
	小計(8科目)	－	9	5	0	3	0	0	0	0	8	

【令和5年度】（旧カリキュラム）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
医療テクノロジーに必要 な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2			
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1			
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3			
	電気工学Ⅱ	2前		2					1			
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3			
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2			
	電子工学Ⅱ	2後		2			1					
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2			
	計測工学	2後	2				1					
	機械工学	2後	2			1						
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1		
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1		
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1		
	小計(14科目)	-	13	4	4	4	2	0	3	1	-	
	情報科学概論	1前	2			1			2			
	情報リテラシー	1前	1						1			
	システム工学基礎	1後	2			1						
	情報処理技術基礎	1後	2			1						
パソコン基礎演習	1通			2				3				
小計(5科目)	-	7	0	2	1	0	0	3	1	-		
小計(30科目)	-	46	9	6	4	2	0	4	1	9		
医療テクノロジーに必要 な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1					1	
	医用機械工学	3後	2			1						
	生体計測装置学	3後	2			2						
	医用機器学	3前	2			1		1				
	医用機器学実習	3後	1			1		1				
	医用画像診断装置学	3前		2							1	
	医用材料工学	3後	2			1						
	医用ロボティクス	3後		2							1	
	人工臓器概論	3後		2		1						
	小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	0	3	
	体外循環療法学	3前		2			1					
	体外循環療法装置学	3前	2				1					
	体外循環療法装置学実習	3後		1			1					
血液浄化療法学	3前		2		1							
血液浄化療法装置学	3前	2			1							

【令和5年度】（新カリキュラム）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
医療テクノロジーに必要 な基礎科目群	応用数学	1後		2			1					
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1			
	電気工学演習Ⅰ	1後		1						3		
	電気工学Ⅱ	2前		2					1			
	電気工学演習Ⅱ	2前		1						3		
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学演習Ⅰ	2前		1			1		2			
	電子工学Ⅱ	2後		2			1					
	電子工学演習Ⅱ	2後		1			1		2			
	確率統計学入門	2前		2							1	
	計測工学	2後	2				1					
	機械工学	2後	2			1						
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1		
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1		
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1		
	小計(15科目)	-	12	12	0	1	2	0	3	1	1	
	情報科学概論	1前	2			1			2			
	情報リテラシー	1前	1						1			
	システム工学基礎	1後	2			1						
	情報処理技術基礎	1後	2			1						
	パソコン基礎演習	1通		2					3			
	医療情報処理技術	2前	2			1						
	医療情報処理技術演習	2前		1		1			1			
	医療情報システム	2前	2			1						
	医療情報システム演習	2前		1		1			1			
情報通信ネットワーク	2後	2			2							
医療用IoT概論	3前	2			1			1		2		
医用画像情報処理技術	3後		2					2				
人工知能(AI)	3後		2							1		
小計(13科目)	-	15	8	0	1	0	0	3	1	-		
小計(40科目)	-	42	25	0	4	2	0	3	1	10		
医療テクノロジーに必要 な専門科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2			
	生体物性工学	3前	2			1					1	
	医用材料工学	3後	2			1						
	医用機械工学	3後	2			1						
	小計(4科目)	-	7	0	0	1	0	0	3	1	-	
	医用機器学Ⅰ	3前	1			1		1				
	医用機器学実習	3後	1			1		1				
	生体計測装置学Ⅰ	3後	1			2						
	医用画像診断装置学	3前		2							1	
	医用ロボティクス	3後		2							1	
	人工臓器概論	3後		2		1						
	臨床支援技術学	4前	2									
	小計(7科目)	-	5	6	0	3	1	1	0	0	2	
	体外循環療法学	3前		2			1					
体外循環療法装置学	3前	2				1						
体外循環療法装置学実習	3後		1			1						
血液浄化療法学	3前		2		1							
血液浄化療法装置学	3前	2			1							

【令和5年度】（旧カリキュラム）

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
医療 テ ク ノ ロ ジ ー に 必 要 な 専 門 科 目 群	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1		
	呼吸療法学	3前		2			1		1		
	呼吸療法装置学	3前	2				1		1		
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1		
	小計(9科目)	-	6	9	0	2	1	1	1	1	-
	医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1		
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1			
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1		
	小計(3科目)	-	5	0	0	0	1	1	1	1	-
	医療情報処理技術	2前	2			1					
	医療情報処理技術演習	2前			1	1			1		
	医療情報システム	2前	2			1					
	医療情報システム演習	2前			1	1			1		
	情報通信ネットワーク	2後	2			1			1		
	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2
	医療用IoTセキュリティー	3後	2			1			1		
	医用画像情報処理技術(未開講)	3後		2					2		
	人工知能(AI)	3後		2							1
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	5	0	6
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2			1					1
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					1
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1		1					1
	小計(4科目)	-	6	1	0	1	0	0	0	0	2
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4
医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
小計(3科目)	-	0	3	0	3	1	1	2	1	12	
臨床実習	4通	4			3	1	1	1	1	1	
小計(1科目)	-	4	0	0	3	1	1	1	1	1	
卒業研究	4通	4			5	2	1	4		1	
小計(1科目)	-	4	0	0	5	2	1	4	0	1	
小計39科目	-	46	23	2	5	2	1	5	1	23	
合計93科目	-	92	60	9	5	2	1	5	1	42	
卒業要件及び履修方法											
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。											

【令和5年度】（新カリキュラム）

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
医療 テ ク ノ ロ ジ ー に 必 要 な 専 門 科 目 群	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1			
	呼吸療法学	3前		2			1		1			
	呼吸療法装置学	3前	2				1		1			
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1			
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
	小計(12科目)	－	6	12	0	3	5	1	4	0	12	
	医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1			1		
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2					1				
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1			
	医用機器学Ⅱ	3前	1			1		1				
	生体計測装置学Ⅱ	3後	1			2						
	医療用IoTセキュリティ(新設講座を含む)	3後	2			1			1			
	小計(6科目)	－	9	0	0	2	1	2	2	0	－	
	小計(0科目)											
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2				1				2	
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2				1				1	
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2				1				1	
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1			1				1	
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	2	
	小計(0科目)											
	臨床実習	4通	7				3	1	1	1	1	
	小計(1科目)	－	7				3	1	1	1	1	
卒業研究	4通	4				5	2	1	4	1		
小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	4	0	1		
小計35科目	－	44	19	0	5	2	1	5	1	23		
合計97科目	－	97	69	0	5	2	1	5	1	42		
卒業要件及び履修方法												
97単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2
	ヒューマンケア概論	1前	1								1
	心理学	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方	1前		2							1
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0	10
	数学Ⅰ	1前	2				1				
	数学Ⅱ	1後		2			1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	0	3
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ	2前		1							1
	科学英語	2後			1	1					
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	5	0	13
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2								1
	解剖生理学Ⅱ	2前	2								1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1	2
	小計(5科目)	-	9	0	0	2	0	0	0	1	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前		2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							1
	臨床検査学概論	2後		1							1
	小計(6科目)	-	6	5	0	2	0	0	0	0	5

【令和6年度】(旧カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5		2
	ヒューマンケア概論	1前	1			2					4
	心理学	1前		2							1
	コミュニケーション論	1前		2							1
	人間の生き方	1前		2		1	1		1		2
	倫理と医療	1後		2							1
	法律と医療	1後		2							1
	社会福祉論	1後		2							1
	カウンセリング論	1後		2							1
	スポーツ健康科学Ⅰ	1前		1							1
	スポーツ健康科学Ⅱ	1後		1							1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0	13
	数学Ⅰ	1前	2				1				
	数学Ⅱ	1後		2			1				
	物理Ⅰ	1前	2			1					
	物理Ⅱ	1後		2		1					
	化学Ⅰ	1前	2			1					
	化学Ⅱ	1後		2		1					
	生物Ⅰ	1前	2								1
	生物Ⅱ	1後		2							1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	0	2
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後		1							1
	英語Ⅲ(未開講)	2前		1							1
	科学英語	2後			1	1					
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	5	0	15
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学Ⅰ	1後	2			1					1
	解剖生理学Ⅱ	2前	2			1					1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2					1
	小計(5科目)	-	9	0	0	2	0	0	0	0	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前		2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後		2							4
	臨床検査学概論	2後		1							1
	小計(6科目)	-	6	5	0	2	0	0	0	0	8

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2			
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1			
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3			
	電気工学Ⅱ	2前		2					1			
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3			
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2			
	電子工学Ⅱ	2後		2			1					
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2			
	計測工学	2後	2				1					
	機械工学	2後	2			1						
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1		
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1		
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1		
	小計(14科目)	－	13	4	4	4	2	0	3	1	－	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	情報科学概論	1前	2			1			1			
	情報リテラシー	1前	1						2			
	システム工学基礎	1後	2			1						
	情報処理技術基礎	1後	2			1						
	パソコン基礎演習	1通			2				2	1		
	小計(5科目)	－	7	0	2	1	0	0	3	1	－	
	小計(30科目)	－	35	9	6	4	2	0	3	1	9	
	医療テクノロジーに必要な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1					1
医用機械工学		3後	2			1						
生体計測装置学		3後	2			2						
医用機器学		3前	2			1		1	1			
医用機器学実習		3後	1			1		1	1	1		
医用画像診断装置学		3前		2							1	
医用材料工学		3後	2			1						
医用ロボティクス		3後		2							1	
人工臓器概論		3後		2		1						
小計(9科目)		－	11	6	0	3	1	1	1	1	2	
体外循環療法学		3前		2			1					
体外循環療法装置学		3前	2				1					
体外循環療法装置学実習		3後		1			1			1		
血液浄化療法学		3前		2		1						
血液浄化療法装置学		3前	2			1						
血液浄化療法装置学実習		3後		1		1			1			
呼吸療法学		3前		2			1		1			
呼吸療法装置学		3前	2				1		1			
呼吸療法装置学実習		3後		1				1	1			
小計(9科目)		－	6	9	0	2	1	1	2	1	－	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1			
	医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1				
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1		
	小計(3科目)	－	5	0	0	0	1	1	1	1	－	
	医療情報処理技術	2前	2			1						
	医療情報処理技術演習	2前			1	1			1			
	医療情報システム	2前	2			1						
	医療情報システム演習	2前			1	1					1	
情報通信ネットワーク	2後	2			1			1				

【令和6年度】(旧カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助手		
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2			
	電気工学Ⅰ	1後	2				1		1			
	電気工学演習Ⅰ	1後			1				3			
	電気工学Ⅱ	2前		2					1			
	電気工学演習Ⅱ	2前			1				3			
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学演習Ⅰ	2前			1		1		2			
	電子工学Ⅱ	2後		2			1					
	電子工学演習Ⅱ	2後			1		1		2			
	計測工学	2後	2				1					
	機械工学	2後	2			1						
	医用工学実験Ⅰ-1	1後	1						3	1		
	医用工学実験Ⅰ-2	2前	1						3	1		
	医用工学実験Ⅱ	2通	2				1		2	1		
	小計(14科目)	-	13	4	4	4	2	0	3	1	-	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	情報科学概論	1前	2			1			2			
	情報リテラシー	1前	1						1			
	システム工学基礎	1後	2			1						
	情報処理技術基礎	1後	2			1						
	パソコン基礎演習	1通			2				3			
	小計(5科目)	-	7	0	2	1	0	0	3	1	-	
	小計(30科目)	-	46	9	6	4	2	0	4	1	10	
	生体物性工学	3前	2			1					1	
医用機械工学	3後	2			1							
生体計測装置学	3後	2			2							
医用機器学	3前	2			1		1					
医用機器学実習	3後	1			1		1					
医用画像診断装置学	3前		2							1		
医用材料工学	3後	2			1							
医用ロボティクス	3後		2							1		
人工臓器概論	3後		2		1							
小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	0	3		
体外循環療法学	3前		2			1						
体外循環療法装置学	3前	2				1						
体外循環療法装置学実習	3後		1			1						
血液浄化療法学	3前		2		1							
血液浄化療法装置学	3前	2			1							
血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1				
呼吸療法学	3前		2			1		1				
呼吸療法装置学	3前	2				1		1				
呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1				
小計(9科目)	-	6	9	0	2	1	1	1	1	-		
医用機器安全管理学Ⅰ	2後	2				1		1				
医用機器安全管理学Ⅱ	2後	2				1	1					
医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1				
小計(3科目)	-	5	0	0	0	1	1	1	1	-		
医療情報処理技術	2前	2			1							
医療情報処理技術演習	2前			1	1			1				
医療情報システム	2前	2			1							
医療情報システム演習	2前			1	1			1				
情報通信ネットワーク	2後	2			1			1				

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
医療テクノロジー に必要な専門科目群	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2	
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1			
	医用画像情報処理技術	3後		2					2			
	人工知能(AI)	3後		2							1	
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	4	0	4	
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2								2	
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1							1	
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	5	
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
	小計(3科目)	－	0	3	0	1	1	0	0	0	12	
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1		
	小計(1科目)	－	4	0	0	3	1	1	2	1		
卒業研究	4通	4			5	2	1	5				
小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	5	0			
小計39科目	－	46	23	2	5	2	1	5	1	21		
合計93科目			－	92	60	9	5	2	1	5	1	38
卒業要件及び履修方法												
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

【令和6年度】(旧カリキュラム)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医療用IoT概論	3前	2			1			1		2	
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1			
	医用画像情報処理技術	3後		2					2			
	人工知能(AI)	3後		2							1	
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	5	0	6	
	臨床医学総論Ⅰ	2後	2			1					2	
	臨床医学総論Ⅱ	3前	2			1					1	
	臨床医学総論Ⅲ	3後	2			1					1	
	臨床医学総論Ⅳ	3後		1		1					1	
	小計(4科目)	－	6	1	0	1	0	0	0	0	2	
	医療テクノロジー特別講義Ⅰ	3後		1		1					4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅱ	3後		1		1			1		4	
	医療テクノロジー特別講義Ⅲ	4前		1							4	
	小計(3科目)	－	0	3	0	3	1	1	2	1	12	
	臨床実習	4通	4			3	1	1	1	1	1	
	小計(1科目)	－	4	0	0	3	1	1	1	1	1	
	卒業研究	4通	4			5	2	1	4		1	
	小計(1科目)	－	4	0	0	5	2	1	4	0	1	
	小計39科目	－	46	23	2	5	2	1	5	1	23	
合計93科目		－	92	60	9	5	2	1	5	1	44	
卒業要件及び履修方法												
92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

授業内容充実のため「ヒューマンケア概論」の教員配置を「兼任教授1」から「兼任教授1、兼任講師1」に変更。

【令和4年度】

授業内容充実のため「ヒューマンケア概論」、「人間の生き方」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
助教の藤原太郎が退職となったため「大学入門講座」の教員配置を「助教5」から「助教4」に変更。
「医用工学概論」の教員配置を「教授4、准教授2、助教2」から「教授4、准教授2、助教1、兼任・兼任1」に変更。
「医用機器学」の教員配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。
「医用機器学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助手1」から「教授1、講師1、助手1、兼任・兼任1」に変更。
「呼吸療法学」および「呼吸療法装置学」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。
「呼吸療法装置学実習」の教員配置を「講師1、助教1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。
「臨床実習」の教員配置を「教授3、准教授1、講師1、助教2、助手1」から「教授3、准教授1、講師1、助教1、助手1」に変更。
「卒業研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師1、助教5」から「教授5、准教授2、講師1、助教4」に変更。

【令和5年度】

(新カリキュラム)
臨床工学技士法第14条第4号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する科目の見直しにより、以下の教育課程の変更を行った。
(1) 科目を分割した科目
「生化学」2単位を「生化学Ⅰ」1単位「生化学Ⅱ」1単位に変更、「医用機器学」2単位を「医用機器学Ⅰ」1単位「医用機器学Ⅱ」1単位に変更、「生体計測装置学」2単位を「生体計測装置学Ⅰ」1単位「生体計測装置学Ⅱ」1単位に変更。
(2) 科目名を変更した科目
「数学Ⅰ」を「数学」、「数学Ⅱ」を「応用数学」に変更。
(3) 新設科目
「臨床支援技術学」
(4) 科目群(小科目群を含む)を変更した科目
・ 科目名変更した「応用数学」は、科目区分ヒューマンケアの基礎科目群「自然科学の理解」から医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な工学的基礎」へ変更
・ 「確率統計学入門」は、科目区分ヒューマンケアの基礎科目群「自然科学の理解」から医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な工学的基礎」へ変更
・ 「病理学」は、科目区分ヒューマンケアの基礎科目群「人体の構造及び機能」から医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な医学系基礎」へ変更
・ 分割した「生化学Ⅱ」は、ヒューマンケアの基礎科目群「人体の構造及び機能」から医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な医学系基礎」へ変更
・ 分割した「医用機器学Ⅱ」は、医療テクノロジーに必要な専門科目群「医用生体工学・医用機器学」から医療テクノロジーに必要な専門科目群「医療安全管理学」へ変更
・ 分割した「生体計測装置学Ⅱ」は、医療テクノロジーに必要な専門科目群「医用生体工学・医用機器学」から医療テクノロジーに必要な専門科目群「医療安全管理学」へ変更
・ 「医用工学概論」は医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な工学的基礎」から医療テクノロジーに必要な専門科目群「医用生体工学」へ変更
・ 「医療用IoTセキュリティ」は、医療テクノロジーに必要な専門科目群「医療機器情報管理学」から医療テクノロジーに必要な専門科目群「医療安全管理学」へ変更
・ 「医療情報処理技術」、「医療情報処理技術演習」、「医療情報システム」、「医療情報システム演習」、「情報通信ネットワーク」、「医療用IoT概論」、「医用画像情報処理技術」、「人工知能(AI)」の8科目は、医療テクノロジーに必要な専門科目群「医療機器情報管理学」から医療テクノロジーに必要な基礎科目群「医療テクノロジーに必要な医療情報技術とシステム工学の基礎」へ変更
・ 「医療テクノロジー特別講義Ⅰ」「医療テクノロジー特別講義Ⅱ」「医療テクノロジー特別講義Ⅲ」の3科目は、医療テクノロジーに必要な専門科目群「関連臨床工学」から医療テクノロジーに必要な専門科目群「生体機能代行技術学」へ変更
(5) 単位数を変更した科目
「臨床実習」(4単位→7単位)

(旧カリキュラム)

授業内容拡充のため「大学入門講座」の教員配置を「助教4」から「助教5」に変更
授業内容充実のため「ヒューマンケア概論」の教員配置を「兼任教授1」から「兼任教授4」に変更
履修者確保のため「人間の生き方」の教員配置を「兼任2」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更
担当教員の辞任により、「生物Ⅱ」の教員配置を「生物Ⅰ」と同担当の「兼任教授1」に変更
担当教員の辞任により、「解剖生理学Ⅰ」の教員配置を「教授1」に変更
授業内容充実のため「解剖生理学Ⅱ」の教員配置を「教授1」「兼任教授1」に変更
担当教員の辞任により、「基礎医学実習」の配置を「教授1、兼任1」に変更
担当教員の辞任により、「薬理学」の教員配置を「兼任1」から「兼任3」に変更
担当教員の辞任により、「医用工学概論」の教員配置を「兼任1」から「助教2」、「呼吸療法学」「呼吸療法装置学」「呼吸療法装置学実習」の教員配置を「兼任1」から「助教1」に変更
専任教員の新規採用により、「情報科学概論」の教員配置を「助教1」から「助教2」、「情報リテラシー」の教員配置を「助教2」から「助教1」、「パソコン基礎演習」の教員配置を「助教2」から「助教3」へ変更、「医療情報システム演習」の教員配置を「教授1」「兼任1」から「教授1」「助教1」に変更
担当教員の辞任により、「臨床医学総論Ⅱ」の教員配置を「兼任2」から「教授1」「兼任1」に変更
「臨床医学総論Ⅲ」の教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更
授業内容充実のため「臨床医学総論Ⅳ」の教員配置を「兼任1」から「教授1」「兼任1」に変更

【令和6年度】

(新カリキュラム)
授業内容拡充のため、「薬理学」の教員配置を「兼任3」から「兼任4」へ変更
授業内容拡充のため、「人間の生き方」の教員配置を「兼任2」から「兼任1」「兼任1」へ変更
(旧カリキュラム)
授業内容拡充のため、「薬理学」の教員配置を「兼任3」から「兼任4」へ変更
授業内容拡充のため、「人間の生き方」の教員配置を「兼任2」から「兼任1」「兼任1」へ変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
49 科目	36 科目	8 科目	93 科目	53 科目	44 科目	0 科目	97 科目	(旧カリキュラム) 必修: 49 [0]、選択: 36 [0]、 自由: 8 [0]、計: 93 [0]
				[4]	[8]	[Δ8]	[4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1 科目減の場合: Δ1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{93} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	幕張ヒューマンケア学部 に新たに蘇我教育セ ンターを開設したた め。(6)		
	校 舎 敷 地	31,903.89㎡ 30,681.48㎡	0㎡	0㎡	31,903.89㎡ 30,681.48㎡			
	運動場用地	20,822.43㎡	0㎡	0㎡	20,822.43㎡			
	小 計	52,726.32㎡ 51,503.91㎡	0㎡	0㎡	52,726.32㎡ 51,503.91㎡			
	そ の 他	8,769.12㎡	0㎡	0㎡	8,769.12㎡			
	合 計	61,495.44㎡ 60,273.03㎡	0㎡	0㎡	61,495.44㎡ 60,273.03㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	幕張ヒューマンケア学部 に新たに蘇我教育セ ンターを開設したた め。(6)			
	43,712.95㎡ 39,740.64㎡ (39,740.64㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	43,712.95㎡ 39,740.64㎡ (39,740.64㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	18室	6室	3室	2室 (補助職員一人)	0室 (補助職員一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	幕張ヒューマンケア学部臨床工学科			28 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科	529 [9] (529 [9])	15 [3] (15 [3])	3 [3] (3 [3])	1 (1)	143 (143)	16 (16)	
	計	529 [9] (529 [9])	15 [3] (15 [3])	3 [3] (3 [3])	1 (1)	143 (143)	16 (16)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	684.61㎡		50		60,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	606.97㎡		—					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	357千円	353千円	図書購入費	4,326千円	4,000千円	4,000千円
		共 同 研 究 費 等	900千円	900千円	設備購入費	124,813千円	2,000千円	1,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,799千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	一千円	一千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、付随事業収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	3	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
幕張ヒューマンケア学部	4	258	年次人	1040	-	0.82	-	-	平成30	-	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1		
健康科学科	4	18	3年次4	80	学士(健康科学)	0.55	-	-	令和6				
臨床工学科	4	40	-	160	学士(臨床工学)	0.40	-	-	令和3				
理学療法学科	4	80	-	320	学士(理学療法)	0.84	-	-	令和元				
看護学科	4	120	-	480	学士(看護学)	0.97	-	-	平成30				
ヒューマンケア学部	4	100	-	400	-	0.93	-	-	平成21	-	埼玉県深谷市上柴町西4-2-11		
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	0.93	-	-	平成21				
管理栄養学部	4	60	-	240	-	0.44	-	-	平成30	-			
管理栄養学科	4	60	-	240	学士(栄養学)	0.44	-	-	平成30				
								令和4	令和元	-			
沼津ヒューマンケア学部	4	100	-	400	-	0.72	-	-	令和3	-	静岡県沼津市日の出町1-1		
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	0.72	-	-	令和3				
大学全体	4	518	3年次4	2080	-	0.79	-	-	平成21	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(1) 一① 担当教員表

專任：		
兼担：		

23

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	杉田 昭栄 (68) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	教授	杉田 昭栄 (68) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	学長	吉岡 俊正 (67) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※	兼任	学長	吉岡 俊正 (68) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※
		生物Ⅱ			生物Ⅱ			杉田 昭栄 (69) <令和3年4月> 博士(農学)	兼任	教授	岡本 佐智子 (58) <平成30年4月> 博士(ヒューマン・ケア学) 看護学概論 ヒューマンケア概論※
兼任	教授	高田 烈 (65) <令和3年4月> 博士(医学) 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 臨床医学総論Ⅱ※	兼任	教授	高田 烈 (65) <令和3年4月> 博士(医学) 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ				兼任	教授	岡本 佐智子 (59) <平成30年4月> 博士(ヒューマン・ケア学) 看護学概論 ヒューマンケア概論※ 大学入門講座
兼任	教授	勝部 憲一 (62) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	勝部 憲一 (62) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※ 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	勝部 憲一 (63) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※ 解剖生理学Ⅰ※ 解剖生理学Ⅱ 感染と免疫 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	高杉 潤 (52) <平成31年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※
兼任	教授	鈴木 剛 (57) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	鈴木 剛 (57) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	鈴木 剛 (58) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論Ⅰ※	兼任	教授	鈴木 剛 (60) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論Ⅰ※ 疾病治療論Ⅲ
兼任	教授	神山 吉輝 (56) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学	兼任	教授	神山 吉輝 (56) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学	兼任	教授	神山 吉輝 (57) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学	兼任	教授	神山 吉輝 (59) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学
兼任	講師	平井 祥枝 (66) <令和3年4月> 学士(英文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	平井 祥枝 (67) <令和3年4月> 学士(英文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	平井 祥枝 (67) <令和3年4月> 学士(英文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ	兼任	講師	平井 祥枝 (69) <令和3年4月> 学士(英文学) 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
兼任	講師	Alamprese Tiziana (59) <令和3年4月> 修士(経済学) 人間の生き方	兼任	講師	Alamprese Tiziana (59) <令和3年4月> 修士(経済学) 人間の生き方				兼任	教授	小久保 博樹 (57) <令和6年4月> 博士(分子生物学) 解剖生理学Ⅰ
兼任	講師	宮本 浩行 (53) <令和3年4月> 博士(保健学) 生物Ⅰ	兼任	講師	宮本 浩行 (53) <令和3年4月> 博士(保健学) 生物Ⅰ						
兼任	講師	高橋 節子 (48) <令和3年4月> 博士(学術) 心理学	兼任	講師	高橋 節子 (48) <令和3年4月> 博士(学術) 心理学	兼任	講師	高橋 節子 (49) <令和3年4月> 博士(学術) 心理学	兼任	講師	高橋 節子 (51) <令和3年4月> 博士(学術) 心理学
兼任	講師	吉田(信岡)真咲 (43) <令和3年4月> 修士(人文科学) スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ	兼任	講師	吉田(信岡)真咲 (43) <令和3年4月> 修士(人文科学) スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ	兼任	講師	吉田(信岡)真咲 (44) <令和3年4月> 修士(人文科学) スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ	兼任	講師	丸山麻子 (44) <令和5年4月> 博士(医学) スポーツ健康科学Ⅰ スポーツ健康科学Ⅱ
兼任	講師	山口 慶子 (40) <令和3年4月> 博士(人文科学) コミュニケーション論 カウンセリング論									
			兼任	講師	山田 圭介 (34) <令和3年4月> 博士(心理学) コミュニケーション論	兼任	講師	山田 圭介 (35) <令和3年4月> 博士(心理学) コミュニケーション論 人間の生き方※	兼任	講師	山田 圭介 (37) <令和3年4月> 博士(心理学) コミュニケーション論 人間の生き方※
			兼任	講師	中村 香理 (33) <令和3年4月> 博士(社会科学) カウンセリング論	兼任	講師	中村 香理 (34) <令和3年4月> 博士(社会科学) カウンセリング論	兼任	講師	中村 香理 (35) <令和3年4月> 博士(社会科学) カウンセリング論
兼任	講師	島津 実伸 (39) <令和3年4月> 博士(法務) 倫理と医療	兼任	講師	島津 実伸 (39) <令和3年4月> 博士(法務) 倫理と医療						
						兼任	准教授	望月 由紀 (52) <令和4年4月> 博士(学術) 人間の生き方※ 倫理と医療	兼任	教授	望月 由紀 (53) <令和4年4月> 博士(学術) 人間の生き方※ 倫理と医療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	十時（杉田）麻衣子 (37) ＜令和3年4月＞ 博士（法務）	兼任	講師	十時（杉田）麻衣子 (37) ＜令和3年4月＞ 博士（法務）	兼任	講師	十時（杉田）麻衣子 (38) ＜令和3年4月＞ 博士（法務）	兼任	講師	十時（杉田）麻衣子 (40) ＜令和3年4月＞ 博士（法務）	兼任	講師	十時（杉田）麻衣子 (40) ＜令和3年4月＞ 博士（法務）
		法律と医療			法律と医療			法律と医療			法律と医療			法律と医療
兼任	講師	関 健二郎 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	関 健二郎 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	関 健二郎 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）						
		薬理学			薬理学			薬理学						
兼任	講師	河村 俊治 (63) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）												
		病理学												
			兼任	講師	康徳東 (43) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	康徳東 (44) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	康徳東 (45) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	康徳東 (46) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）
					病理学			病理学			病理学			病理学
兼任	講師	小宇田（村本）智子 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	小宇田（村本）智子 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）									
		感染と免疫			感染と免疫									
兼任	講師	川崎 泰亮 (36) ＜令和4年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	川崎 泰亮 (35) ＜令和4年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	川崎 泰亮 (36) ＜令和4年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	川崎 泰亮 (37) ＜令和4年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	佐々木 章 (82) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		臨床検査学概論			臨床検査学概論			臨床検査学概論			臨床検査学概論			臨床検査学概論
兼任	講師	太田 裕司 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	太田 裕司 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	太田 裕司 (59) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	太田 裕司 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	太田 裕司 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		生体物性工学※ 医用ロボティクス			生体物性工学※ 医用ロボティクス			生体物性工学※ 医用ロボティクス			生体物性工学※ 医用ロボティクス			生体物性工学※ 医用ロボティクス
兼任	講師	山内 康司 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	山内 康司 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	山内 康司 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	山内 康司 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	山内 康司 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		文化人類学			文化人類学			文化人類学			医用画像診断装置学			医用画像診断装置学
兼任	教授	土肥 健純 (75) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	土肥 健純 (73) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	土肥 健純 (74) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	土肥 健純 (75) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	土肥 健純 (76) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		医用画像診断装置学			医用画像診断装置学			医用画像診断装置学			医用ロボティクス 医用IoT概論			医用ロボティクス 医用IoT概論
兼任	講師	富井 直輝 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	富井 直輝 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	富井 直輝 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	富井 直輝 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	富井 直輝 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		人工知能（AI）			人工知能（AI）			人工知能（AI）			人工知能（AI）			人工知能（AI）
兼任	講師	佐々木 優二 (56) ＜令和5年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	佐々木 優二 (54) ＜令和5年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	佐々木 優二 (55) ＜令和5年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	佐々木 優二 (56) ＜令和5年4月＞ 学士（教養）	兼任	講師	佐々木 優二 (57) ＜令和5年4月＞ 学士（教養）
		医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※
兼任	講師	近藤 敏哉 (56) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	近藤 敏哉 (54) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	近藤 敏哉 (55) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	近藤 敏哉 (56) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	近藤 敏哉 (57) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※
兼任	講師	配野 治 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（経営管理）	兼任	講師	配野 治 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（経営管理）	兼任	講師	配野 治 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（経営管理）	兼任	講師	配野 治 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（経営管理）	兼任	講師	配野 治 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（経営管理）
		医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※
兼任	講師	高橋 初 (42) ＜令和5年4月＞ 学士（学術）	兼任	講師	高橋 初 (40) ＜令和5年4月＞ 学士（学術）	兼任	講師	高橋 初 (41) ＜令和5年4月＞ 学士（学術）	兼任	講師	高橋 初 (42) ＜令和5年4月＞ 学士（学術）	兼任	講師	高橋 初 (43) ＜令和5年4月＞ 学士（学術）
		医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※			医療テクノロジー特別講義Ⅰ※
兼任	講師	川崎 忠行 (71) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	川崎 忠行 (69) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	川崎 忠行 (70) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	川崎 忠行 (71) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒	兼任	講師	川崎 忠行 (72) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	金山 洋二 (66) ＜令和5年4月＞ 工業高専卒	兼任	講師	金山 洋二 (64) ＜令和5年4月＞ 工業高専卒	兼任	講師	金山 洋二 (65) ＜令和5年4月＞ 工業高専卒	兼任	講師		兼任	講師	立花 英寿 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（栄養学）
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※						医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	鈴木 聡 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	鈴木 聡 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	鈴木 聡 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	鈴木 聡 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	鈴木 聡 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（医学）
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	梅田 千典 (42) ＜令和5年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	梅田 千典 (40) ＜令和5年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	梅田 千典 (41) ＜令和5年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	梅田 千典 (42) ＜令和5年4月＞ 学士（工学）	兼任	講師	梅田 千典 (43) ＜令和5年4月＞ 学士（工学）
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※			医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	酒井 清孝 (82) ＜令和6年4月＞ 工学博士	兼任	講師	酒井 清孝 (79) ＜令和6年4月＞ 工学博士	兼任	講師	酒井 清孝 (80) ＜令和6年4月＞ 工学博士	兼任	講師	酒井 清孝 (81) ＜令和6年4月＞ 工学博士	兼任	講師	酒井 清孝 (82) ＜令和6年4月＞ 工学博士
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※			医療テクノロジー特別講義Ⅲ※			医療テクノロジー特別講義Ⅲ※			医療テクノロジー特別講義Ⅲ※			医療テクノロジー特別講義Ⅲ※

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

① 報告申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に記して作成してください。

② 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。

③ 「認可時又は届出時」には設置認可または届出時の教員を(兼任、兼担教員を含む。)を赤字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**

④ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。

⑤ 専任(専任講師等)は専、専実、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。

⑥ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

⑦ 指定定期の改正により、新カリキュラムと並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上部に「変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・榎庭繁兼任教授が就任辞退となったため、「ヒューマンケア概論」において勝部憲一兼任教授に変更、田上美千佳兼任講師を追加
- ・河村俊治兼任講師が就任辞退となったため、「病理学」において康徳東兼任講師に変更
- ・山口慶子兼任講師が就任辞退となったため、「コミュニケーション論」を山田圭介兼任講師に変更、「カウンセリング論」を中村香里兼任講師に変更

【令和4年度】

- ・榎庭繁兼任教授が就任辞退となったため、「ヒューマンケア概論」をオムニバス科目とした。吉岡俊正学長、勝部憲一兼任教授となり、大坪茂教授を追加。
- ・Alamprese T Iz I ana兼任講師が就任辞退となったため、「人間の生き方」をオムニバス科目とし、山田圭介兼任講師、望月由紀兼任准教授に変更。
- ・宮本浩行講師が就任辞退となったため、「生物Ⅰ」において舟橋久幸兼任教授に変更。
- ・河村俊治兼任講師が就任辞退となったため、「病理学」において康徳東兼任講師に変更。
- ・鹿田烈教授が退職となったため、「解剖生理学Ⅰ」、「解剖生理学Ⅱ」において勝部憲一兼任教授に変更。
- ・、鹿田烈兼任教授が退職となったため、「臨床医学総論Ⅱ」において兼任教授から兼任講師に変更。
- ・「感染と免疫」において、教育の質を向上させるため小宇田智子兼任講師から医師の勝部憲一教授を兼任に変更。
- ・山口慶子兼任講師が就任辞退となったため、「コミュニケーション論」を山田圭介兼任講師に変更。「カウンセリング論」を中村香里兼任講師に変更。
- ・「倫理と医療」において、教育の質を向上させるため、島津美伸兼任講師から望月由紀兼任准教授に変更。
- ・藤原太郎助教が退職となったため、「大学入門講座」、「医用工学概論」、「医用機器学」、「医用機器学実習」、「呼吸療法学」、「呼吸療法装置学」、臨床実習」、「卒業研究」において助教から兼任講師に変更。

【令和5年度】

- ・教育の質を向上させるため、「ヒューマンケア概論」において渋谷泰史教授、根本清次兼任教授、岡本佐智子兼任教授、高杉潤兼任教授に変更。
- ・教育の質を向上させるため、「人間の生き方」において渋谷泰史教授、濱口淳准教授、肥田泰幸助教を追加
- ・教育の質を向上させるため、「臨床医学総論Ⅳ」において大坪茂教授を追加。
- ・教育の質を向上させるため、「医用工学概論」において肥田泰幸助教を追加
- ・山下知子専任助教就任により、「情報リテラシー」「パソコン基礎演習」において土井根礼音助教、野口展士助教から山下知子助教に変更、
- 「医療情報処理技術演習」において土井根礼音助教、山下和彦教授から山下和彦教授、山下知子助教に変更、
- 「大学入門講座」「情報化学概論」「卒業研究」に山下知子助教を追加。(令和5年2月教員審査済)
- ・楠田佳緒兼任講師の辞任により、「医療情報システム演習」において山下知子助教を追加(令和5年2月教員審査済)
- ・高橋邦泰兼任教授、杉田昭栄兼任教授の退職により、「解剖生理学Ⅰ」において担当を大坪茂教授に変更(令和5年2月教員審査済)
- ・杉田昭栄兼任教授の退職により、「生物Ⅱ」において舟橋久幸兼任教授に変更
- ・教育の質を向上させるため、「臨床医学総論Ⅱ」において勝部憲一兼任教授、鈴木剛兼任講師から大坪茂教授、三浦邦久兼任講師に変更(令和5年2月教員審査済)
- ・高橋邦泰教授の退職により、「疾病治療Ⅲ」において勝部憲一教授、高橋邦泰教授から勝部憲一教授、鈴木剛兼任講師に変更
- ・吉田真咲兼任講師の辞任により、「スポーツ健康科学Ⅰ」「スポーツ健康科学Ⅱ」において丸山麻子兼任講師に変更
- ・教育の質を向上させるため、「医用画像診断装置学」において土肥健純兼任講師から山内康司兼任講師に変更
- ・関健二郎兼任講師の辞任により、「薬理学」において兼任講師3名を補充予定

【令和6年度】

- ・教育の質を向上させるため、「薬理学」において相澤政明兼任講師を追加
- ・教育の質を向上させるため、「解剖生理学Ⅰ」において小久保博樹兼任教授を追加
- ・石黒友康兼任教授の退任により、「大学入門講座」において岡本佐智子兼任教授に変更
- ・就任予定であった兼任講師の辞退により、「医療テクノロジー特別講義Ⅱ」において立花英幸兼任講師を追加
- ・川崎泰亮兼任講師の辞任により、「臨床検査学概論」において佐々木章兼任講師に変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**、
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	2	1	5	13	1	5	2	1	5	13	1
(5)	(2)	(0)	(5)	(12)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
5	2	1	5	13	1	5	2	1	5	13	1
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{13} = \boxed{23.07} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	助教	藤原 太郎	R4.3	必修	大学入門講座	①	R4.3.31付 一身上の都合（４）						
				必修	医用工学概論	①							
				必須	医用機器学	①							
				必修	医用機器学実習	③							
				選択	呼吸療法学	①							
				必修	呼吸療法装置学	①							
				選択	呼吸療法装置学実習	①							
				必修	臨床実習	③							
				必修	卒業研究	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	7	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	7	科目	必修	5	科目	2
		選択	2	科目	選択	2	科目	0
		自由	0	科目	自由	0	科目	0
		計	9	科目	計	7	科目	2

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{13} = 7.69\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和2年)	1. 「医療テクノロジー学科」という学科名称について、臨床工学の専攻分野として学術的に妥当な名称で、かつ、国際通用性を有するものか判断としないため、本学で養成する人材像が臨床工学技士であることや、授与する学位名称が「学士（臨床工学）」であることに鑑み、学科名称を「臨床工学科」に改めるとともに、英語名称についても整合性のあるものとする。	【認可】 遵守事項	ご指摘を受け、学科名称を「臨床工学科」へ変更、また、英語名称を学科名と整合性を図るため「Department of Clinical Engineering」とし、令和2年10月27日付で名称変更の届出を行った。（3）	履行済	
認 可 時 (令和2年)	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項	今後、適切に定年管理を行い、完成年度に向けて計画的な教員の採用計画を検討、実施していく。（3）	履行済	人事委員会において教員の年齢構成を見直し、採用計画を立案、実施する。（3）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 （管理栄養学部管理栄養学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	・新型コロナウイルス感染拡大により、対面での広報活動が制限された影響もあり、前年度を下回る充足率となってしまった。（3）	履行中	・情報通信技術を活用した新たな広報戦略を工夫・実施するとともに、感染対策に気を付けながら対面での広報活動も行い、学生確保に努める。（3）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。（管理栄養学部管理栄養学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	専任教員数の補充のため、現在、採用と昇格の選考を行い、令和4年6月にAC教員審査の受審予定となっている。（4） 令和4年6月の教員審査を受審し、昇格と採用ならびに欠員の助手の採用を実施した。（5）	履行済	令和4年6月のAC教員審査の結果を受け、欠員となる助手の補充を行う予定である。（4） 設置計画に沿った教員を確保した。（5）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 （管理栄養学部管理栄養学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	これまで、広報活動に注力し、様々な取り組みを行ってきたが、平均定員超過率が0.52と定員の確保には至らないため、適正な定員数への定員減を検討する。（5）	履行済	適正な定員とするため、大学内での定員20名の付け替えを行い、令和6年度より入学定員を60名に減少した。（6）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 （幕張ヒューマンケア学部臨床工学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	臨床工学技士という職業及び臨床工学科の教育内容の周知に注力し広報活動を実施し、入学者は8名から25名と大幅に増加はしたものの、定員充足には至らなかった。（4）	履行中	初年度より増加はしたものの、まだ定員充足には至らないため、広報の手段等を検討し、更なる臨床工学科の教育および職業像の周知に力を入れ広報を行う。（4）
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 （管理栄養学部管理栄養学科）	【AC】 指摘事項 （改善）	令和6年4月より定員を20名減じることとを理事会にて決定した。（5）	履行済	

設置計画履行状況 調査時 (令和4年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (幕張ヒューマンケア学部臨床工学科)	【AC】 指摘事項 (改善)	令和5年度は19名の入学者となり、努力実らず、前年度の入学定員充足率を下回ってしまった。(5)	履行中	令和4年度のオープンキャンパス等への参加者は前年度比18%増にもかかわらず、入学へ繋がらなかった原因は、社会の臨床工学技士という職業への認知不足であり、出口のニーズに対して、入口のニーズが足りていない状況である。このギャップを解消するため、教職員一体となり、高校訪問数およびエリアを拡大し、職業啓蒙を図ると共に、出前講義の回数を増やし積極的に臨床工学科およびその職業像の周知を行っていく。(5)
設置計画履行状況 調査時 (令和5年)	収容定員充足率が0.34倍と著しく低い。教育内容の更なる充実を図りつつ、提示された学生確保に向けた取組等を確実に実施するとともに、速やかに長期的な学生確保の見通しを客観的根拠に基づき分析した上で、より効果的な改善策を新たに講じる等、入学定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、入学定員の見直しも検討すること。 (幕張ヒューマンケア学部臨床工学科)	【AC】 指摘事項 (是正)	まず、原因分析について、18歳人口の減少に加え、開設の翌年度に近隣に定員70名の臨床工学科(順天堂大学)が開設されたこと、また、臨床工学技士の社会的な職業認知度が想定より低いことが大きな要因であると考えている。また、2023年度臨床工学技士国家試験受験者数は、2630人と他国家資格受験者に比べて極めて少ないことから全国的に志願者獲得に苦戦していることがうかがえる。 前述のように厳しい状況ではあるものの、臨床工学技士は従来の多種多様な医療機器の管理のみならず、近年の医療技術の高度化により、医療機器もAI・IoT技術による情報化が進み、医療行為も出来るようになるなど臨床工学技士の果たすべき社会的役割は拡大、専門化しており、本学としてもそのニーズに対応する必要があると感じている。(6)	履行中	左記の分析の元で、本学の強みや特色のブランディングの構築が急務と考え、従来の臨床工学技士の担ってきた医療治療機器操作・安全管理と医療情報技師の担ってきた医療情報関連業務を学べる学科として、本学ならではの個性の発信に注力している。高校生はもとより進路指導の高校教員に対し、当該学科の教員が高校訪問や出前講義を通して、学科の情報発信に加え臨床工学技士の啓蒙活動を粘り強く実施し、学生確保に努めていく。 また、本学科を選んでもらうべく、教育実績の向上にも努めており、2022・2023年度に受験した医療情報技師では各年度1名ずつの合格者を、2023年度に受験したME2種技能検定試験では3年次全員が合格をしており、完成年度を迎える本年度に国家試験の合格率で結果を残せるよう準備を進めている。 粘り強く広報活動は続けていくが、全国的な18歳人口の減少の中、これまでの入学実績、今後の国家試験の合格率を踏まえながら、適正な入学定員の見直しを含めた今後の学科の方針を検討していく。(6)

<p>設置計画履行状況 調査時 (令和5年)</p>	<p>多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、改善策が十分では ないため、教育研究水 準の維持向上等に配慮 した安定的な教員組織 の編制のため、詳細な 原因分析及びより効果 的な改善策について検 討すること。(沼津 ヒューマンケア学部看 護学科)</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>就任辞退については、学部開設 (実際の就任)まで1年以上の期 間があったために、その間に家庭 の事情の変化等により就任を固辞 されたためであった。学部開設後 の6名の辞任についても、(1)高 齢教員の健康状態の予想外の悪 化、(2)配偶者の死、(3)家族 の介護度の増加、(4)本学就任前 の元の職場からのやむを得ない事 情による帰還要請が大半であり、1 件だけは(5)人間関係によるスト レスが主たる原因であると考えら れた。(1)から(4)までは、予 期できない理由であるが、(5)に ついては、対応可能であると考え る。なお、採用に当たっては、そ の後に継続的に本学での就業を期 待し、それにえられる業績や経 験等を面接も含めて確認していた が、予期せぬ事態による辞任で あった。予期しようない事由につ いて、事前の改善策は難しいが、 左記記(3)のような未だに女性教 員に降りかかることの多い困難に ついては、担当業務の調整などの 配慮を行っている。しかし、看護 師養成機関であるという性質上、 臨地実習期間については限界があ る。一方、(5)については、風通 しのよい講座・領域運営に向けた 助言、必要なサポートを大学とし て積極的に行うとともに、例えば 「ハラスメント」と位置づけられ るような問題については、学内組 織と規定を整備して、早期の対応 ができるようにしている。本件も そのようなサポートにより、問題 発生から約1年間は当事者も対処可 能であったが、少しずつ蓄積した ストレスにより辞任を決意したも のと評価している。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>＜安定した教員組織作りのための 対応＞ 小さな学部であるために教員体制 の余裕は少なく、それに伴う業務 負担の増加が、個々の教員の家庭 の事情への適応性やストレスへの 対処能力などの低下の原因になり 得ると考えている。そのために、 辞任により欠員が生じた際は速や かに欠員を補充するとともに、当 初計画の教員配置数を上回る教員 の補充を徐々に行って来ている。 また、ハラスメントにつながる 人間関係の問題については、全 員参加の定期的な研修会を行うと ともに、問題の早期発見に務めて いる。これらの対策により、より 安定した教員組織の編成を目指し ている。(6)</p>
------------------------------------	---	--------------------------------	---	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<幕張ヒューマンケア学部学 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成30年より東都大学FD委員会（幕張ヒューマンケア学部）を設置。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 教員7名、職員2名により、原則月1回、計10回の委員会を開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度活動報告、2023年度活動計画について ・ 授業評価アンケートの実施について ・ FD研修、授業相互参観の実施について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員相互の授業参観 ・ 第1回FD研修会（全学）、第2回FD研修会（幕張） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前申し込みによる実施（授業参観） ・ 対面およびオンデマンド講演、グループワーク（FD研修） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護学科21件、理学療法学科14件、臨床工学科10件の相互授業参観が実施された。 ・ 第1回「多肢選択問題の作成について（グループワーク）」 幕張キャンパスについては、36名（対面参加21名）の教員が参加した。 ・ 第2回 テーマ「学生支援—学修困難の背景に気づく」（外部講師 山中多民子） 対面参加29名、オンデマンド視聴29名の計58名の教員が参加した。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 アンケート結果や質問事項等への回答をフィードバックし、授業改善に活用している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 各授業科目の最終回に学生による授業評価アンケートを実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 授業評価アンケート結果は図書館に備え付けて学生に公開。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学自己点検評価委員会において、幕張ヒューマンケア学部臨床工学科の設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を実施する予定である。令和5年度で3年目を迎え、専門科目の授業も始まり、本格的な臨床工学技士としての養成始まってきたが、これまでの教育については当初計画通り順調に実施できている。完成年度および国家試験に向けて、教職員一丸となって取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 令和7年2月 公表予定（令和5年度自己点検評価書）

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開するとともに、学生閲覧用として図書館に備えつけている。

③ 認証評価を受ける計画

令和4年10月に評価機関（日本高等教育評価機構）の機関別認証評価を受審し、適合の認定を受けた。

次回は6年後の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。